

平成26年度 事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

目 次

I 一般会計事業

1 法人運営事業	P 1
2 地域福祉活動事業	P 5
3 福祉団体事業	P 10
4 町受託事業	P 11
5 共同募金配分金事業	P 11
6 資金貸付事業	P 13
7 まごころ銀行管理運営事業	P 13
8 居宅介護支援事業	P 14
9 訪問介護事業	P 15
10 訪問入浴事業	P 16
11 身体障害者居宅介護事業	P 17
12 各種募金活動	P 17

1 法人運営事業

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,122,000 円	(1,122 件)
	特別会員	45,000 円	(15 件)
	合 計	1,167,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催（定数 理事 13 名 監事 2 名 評議員 27 名）

○理事会

平成 26 年 5 月 26 日 出席者 理事 11 名 表決 2 名
監事 1 名 欠席 1 名

評議員の補欠選任について

平成 25 年度松野町社会福祉協議会事業報告について

平成 25 年度松野町社会福祉協議会一般会計収入支出決算の認定について

その他

福祉のつどいの講師について

平成 26 年 7 月 11 日 出席者 理事 11 名 表決 1 名 欠席 1 名 監事 2 名

松野町社会福祉協議会経理規程の改正について

まごころ銀行助成金交付に係る審査について

その他

地域福祉活動計画に関する講演会の開催について

平成 26 年 10 月 3 日 出席者 理事 10 名 表決 3 名 監事 2 名

報告 生活困窮者自立支援法に係る愛媛県事業の受託について

評議員の委嘱につき同意を求めることについて

平成 26 年度一般会計補正予算（案）について

その他

理事・監事の候補者について

新会計勘定科目への任意番号の検討について

平成 26 年 10 月 15 日 出席者 理事 10 名 欠席 2 名 監事 2 名

報告 任期満了に伴う評議員の委嘱について

任期満了に伴う理事、監事の選任について

会長、副会長の選任について

その他

会長、副会長に事故あるときの職務代理者の会長指名について

指定介護保険事業者等の変更届に伴う「役員誓約書」における捺印について

共同募金配分金等による自動車の購入納車について
理事の欠員について

平成 27 年 1 月 16 日 出席者 理事 12 名 表決 1 名 監事 2 名
報告 成年後見人の受任について
評議員の補欠選任について
生活困窮者自立支援法に基づく愛媛県事業の受託について
平成 26 年度松野町社会福祉協議会一般会計補正予算（案）の承認について
その他
やさしい地域福祉セミナーの開催について
平成 27 年度の予算要望について

平成 27 年 3 月 27 日 出席者 理事 10 名 表決 3 名 監事 2 名
報告 理事の補欠選任について
評議員の補欠選任について
経理規程の改正について
臨時・嘱託職員就業規則の改正について
臨時・嘱託職員賃金規程の改正について
職員登用規程の制定について
平成 26 年度松野町社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について
平成 27 年度松野町社会福祉協議会事業計画（案）について
平成 27 年度松野町社会福祉協議会一般会計予算（案）について
その他 理事、監事の補欠選任について

○評議員会

平成 26 年 5 月 27 日 出席者 評議員 18 名 欠席 9 名 監事 1 名
報告 評議員の選任について
平成 25 年度松野町社会福祉協議会事業報告について
平成 25 年度松野町社会福祉協議会一般会計決算について
その他
介護保険事業の人員について

平成 26 年 10 月 8 日 出席者 評議員 22 名 欠席 5 名
報告 評議員の選任について
生活困窮者自立支援法に係る愛媛県事業の受託要請について
理事の選任について
監事の選任について
平成 26 年度一般会計補正予算（案）について

平成 26 年 11 月 13 日 出席者 評議員 22 名 欠席 5 名
 報告 会長、副会長の選任等について
 理事の補欠選任について
 その他
 福祉のつどいの開催と認知症のアンケート調査について

平成 27 年 3 月 30 日 出席者 評議員 20 名 欠席 7 名
 報告 評議員の補欠選任について
 報告 経理規程の改正について
 報告 臨時・嘱託職員就業規則の改正について
 報告 臨時・嘱託職員賃金規程の改正について
 報告第 職員登用規定の制定について
 報告 生活困窮者自立支援法に基づく愛媛県事業の受託について
 理事の補欠選任について
 監事の補欠選任について
 平成 26 年度松野町社会福祉協議会一般会計補正予算（案）について
 平成 27 年度松野町社会福祉協議会事業計画（案）について
 平成 27 年度松野町社会福祉協議会一般会計予算（案）について
 その他 成年後見人の受任について

(4) 監査の実施状況

平成 26 年 5 月 13 日 15 日 (25 年度監査) 監事 2 名、会長、職員 2 名

平成 26 年 10 月 20 日 社会福祉法人指導監査
 愛媛県南予地方局 3 名 会長、監事、職員 2 名

(5) 労務管理・職員数の状況

単位:人

区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
平成26年4月1日	10	5	1	3	19
平成27年3月31日	10	5	1	3	19
増 減	0	0	0	0	0

(6) 各種大会の開催

①松野町敬老式の開催

松野町及び松野町中央公民館との三者共催による松野町敬老式を開催した。
 内容については、これまでの行財政改革における検討内容を反映し、慰安
 演芸会や昼食会を廃止し、長寿の祝い歳の方々に、記念品を贈呈する式典を中

心とした形式で開催した。

また、実施においては行政関係機関と「敬老会あり方検討会」(7月30日)を開催し、内容等を予め協議し実施した。また、後日行政機関の関係部署と反省会(11月18日)を開催し、今後の意見聴取を行なった。

9月12日 開催

主な内容	
オープニングショー	各保育園児
記念品贈呈	
児童作文発表	各小学校児童代表
交通安全講和	宇和島警察署 鬼北交番
アトラクション	フレンド、フレンドまつの有志
開催費用	900,948 円

記念品贈呈者数

単位:人

祝い歳	生まれ年	男	女	合計
喜寿(数え77歳)	昭和13年生まれ	20	33	53
傘寿(数え80歳)	昭和10年生まれ	35	45	80
米寿(数え88歳)	昭和2年 生まれ	16	32	48
卒寿(数え90歳)	大正14年生まれ	15	26	41
白寿(数え99歳)	大正5年生れ		1	1
百賀(数え100歳)	大正4年生れ	1	1	2
	合 計	87	138	225

敬老式 高齢者等出席状況												
年度	平成26年度			平成25年度			平成24年度			平成23年度		
	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者
内訳												
喜寿	53	16	16	85	41	39	73	30	27	81	39	32
傘寿	80	27	28	74	24	23	83	29	28	88	37	35
米寿	48	11	10	51	14	15	44	16	18	44	13	12
卒寿	41	15	14	41	11	10	30	8	8	30	10	10
白寿	1	0	0	4	1	1	6	2	2	3	2	2
百賀	2	2	2	3	1	1	3	1	2	2	1	1
小計	225	71	70	258	92	89	239	86	85	248	102	92
老人クラブ代表		54	41		56	54		59	47		65	48
祝い歳重複者		7	6		12	12		9	6		14	10
合計	225	118	105	258	136	131	239	136	126	248	153	130

②松野町戦没者追悼式の開催

松野町並びに松野町遺族会と共催による戦没者追悼式を開催した。
本年度は祭壇の造花を新たに購入し、実施した。

参加者 57名

開催費用 138,135円（献花代、記念品代、会場設営費等）

3月17日 開催

③少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学2年生36名を対象に記念品等を贈り、その開催を支援した。（少年式は授業時間数の確保等のため、平成16年度に開催形式を変更し「少年の日を祝う会」とし、中学校単独実施となっている。）

助成費用 59,858円（記念品代、会場設営費等）

④福祉のつどいの開催

福祉問題をより身近に感じて、住民の福祉に関する理解と関心を高められるよう講演会等を開催した。

本年度は、「認知症の理解と予防」をテーマに、の提供を行なった。

報告等 認知症のアンケートと社協の予防活動について

講演 角南 典生 氏 松山市民病院 脳神経外科部長
「あなたの脳は大丈夫？」
—認知症にならないコツ、脳卒中で倒れないコツ、
教えます—

参加者 約130名

開催費用 123,390円

11月29日 開催

2 地域福祉活動事業

(1) ボランティアグループの支援

松野町福祉ボランティアグループの活動を支援し、協働して見守り型給食サービス並びに広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

また、日赤奉仕団のボランティア活動を支援した。

○福祉ボランティアグループ総会の開催

平成26年5月19日

○給食サービス（月 2 回） 計 24 回 配食数 609 食（25.4 食／回）
利用者（見守りが必要な一人暮らしの高齢者等、老夫婦世帯等）
22 名～30 名（入院等による月変動有り）

○朗読ボランティア活動（朗読ボランティアグループによる自主的活動）
広報まつの等を年 12 回録音しテープを貸出した。
利用者 1 名
伊予市ボランティアグループとの学習交流会 1 回
読み聞かせ研修会参加 1 回（1 名）
読み聞かせや百人一首の実施（学童保育 5 回、松野西小学校 1 回、
松野南小学校 1 回、松野東小学校 1 回、
ライフまつの 1 回、古城園デイ 1 回）

○ボランティア活動保険への加入
誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。
加入者数 74 名 22,200 円（一人 300 円）

○日赤奉仕団の支援
総会の開催支援 平成 26 年 4 月 17 日
赤十字手つなぎボランティアの支援 平成 26 年 5 月 29 日
通学路の清掃活動
学校での野外炊さん活動 総人数 59 名

赤十字地域高齢者生活支援活動「ひだまり赤十字」平成 26 年 9 月 30 日
陽だまり会（奥内地区サロン）

赤十字防災講座の支援 平成 26 年 11 月 19 日
西小学校 6 年生 総人数 44 名

松野町防災フェア 炊き出し訓練への支援 平成 27 年 3 月 8 日
奉仕団参加 9 名

赤十字ぬくもり子育て広場の開催支援 平成 27 年 3 月 13 日
子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 6 組

(2) ボランティア活動推進

○ ボランティア活動の場を広げるため、施設やイベント等の要望について情報収集し、ボランティアへとつなげた。

・朗読ボランティア読み聞かせ活動など

- ・桃源郷マラソン大会給水ボランティア
- ・フレンド芝桜まつり

○ ボランティア活動の質の向上のため、講習会等の情報提供や他ボランティアグループとの勉強交流会の支援をした。

(3) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年 2 回程度郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。

ふれあい郵便配達数	年賀状	350 名
	暑中見舞い	328 名
	合 計	678 名

(4) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する高齢者で、家に閉じこもりがちな主に一人暮らしの方を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的な生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

また、全地区を対象として一日研修（松山市 NHK 見学、久万高原町 久万美術館見学）を実施した。

スタッフ 職員 2 名（嘱託職員 1 名、パート職員 1 名）
 地区 6 班（松丸 目黒上、目黒下、西の川 吉野 1、吉野 2）
 利用者 70 名
 参加費 1 回約 500 円 昼食代等

総事業費 3,187,880 円

(5) ふれあい・いきいきサロン

○ 高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。

グループ名	実施回数	参加者
なでしこ（豊岡前）	14 回	21 名
脱線グループ（豊岡後）	15 回	7 名
コスモスの会（蕨生）	10 回	16 名
ここにこ会（蕨生）	11 回	8 名
ミナクル会(古市場)	12 回	8 名
陽だまり会(奥内)	11 回	17 名

○ 介護者自身の心と身体の健康を保つことや、情報交換しながら互いに支えあい、経験を分かち合いながらよりよい介護を目指すことを目的として、「介護者サロン」を実施した。地域福祉担当職員、地域包括支援センター職員、ケアマネージャー、ヘルパーと連携し、情報発信や運営を行った。

平成 26 年 7 月 9 日 参加者 7 名

平成 26 年 10 月 21 日 参加者 8 名

平成 27 年 2 月 18 日 参加者 5 名

(6) 福祉教育への取り組み

ふだんの暮らしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

○ 給食サービス事業の弁当に添えているメッセージカード作成

西小学校 6 回 東小学校 4 回 南小学校 2 回

松野中学校 6 回

○ 防災教育「赤十字 防災講座」実施

西小学校 6 年生 平成 26 年 11 月 19 日

防災講座や応急手当の技術習得などの活動を通して、松野町赤十字奉仕団員との異世代交流を図り、地域でのつながり作りをした。

○ 福祉教育の実施

当事者との交流や高齢者疑似体験、車イス体験を通じて、「障がい」や「高齢」の理解だけでなく、「その人」への理解が深まるよう福祉教育を実施し、自分にできることを考えるきっかけ作りをした。

東小学校 3.4 年生 平成 26 年 11 月 13 日

平成 26 年 11 月 27 日

○ 高齢者との交流会実施 平成 26 年 10 月 8 日

南小学校と生きがい活動支援通所事業目黒地区参加者との交流会

○ 障がい者とのミュージックケア交流会実施 平成 26 年 11 月 22 日

参加者 55 名

さまざまな人との交流を通じ、地域に暮らす一人として、できることは何かを考え行動する力を育むため、子どもから高齢者、障がい者が集う場をつくり、共に活動し交流を図った。

(7) 子育て支援への取り組み

子育て世代の孤立を防止し、住みやすい地域を目指し、地域づくりの担い手を育成した。

○ 非常食作り講座の実施 平成 26 年 6 月 13 日

参加者 子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 4 組

松野町日赤奉仕団 6 名

世代や立場が違ふ、それぞれの視点からみた防災・減災の知恵を学びあい、異世代交流を通して、互いの世代への理解を深めた。

- 節分行事を通じて世代間交流の支援 平成 27 年 2 月 3 日
参加者 子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 4 組
- 「赤十字ぬくもり子育て広場」実施 平成 27 年 3 月 13 日
育児不安やストレスを軽減するため、子どもの薬の使い方についての講演と応急手当の実技、松野町赤十字奉仕団員との交流により地域コミュニティの活性化を図った。
参加者 子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 6 組
松野町日赤奉仕団 5 名

(8) 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症や障害者など判断能力に不安があったり、不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人との契約により下記の援助を行う事業である。

- ・福祉サービスの利用契約における援助
- ・情報提供、相談、助言
- ・日常的金銭管理、書類等預かりサービス

利用者 0 名 相談件数 6 件

生活支援員 2 名

利用料 1,000 円 (1 回 1 時間程度 生活支援員報酬)

(9) 法人成年後見人の実施

平成 26 年 1 月の被後見人死亡により 1 件の成年後見事務を終了した。
平成 15 年 2 月からの成年後見人報酬を、地域福祉事業積立金として積立を行った。(報酬額 2,900,000 円 約 11 年分)

また平成 26 年 11 月の家庭裁判所審判(松野町長申立てによる家裁審判)により、新たに 1 件の成年後見人を受任し、家庭裁判所等と相談しながら、被後見人の財産管理や身上監護(生活・医療・介護等に関する契約や手続き)を行った。

(10) 地域福祉活動計画の策定に向けた基盤整備

聖カタリナ大学の講師を招き、地域福祉活動計画策定について指導助言を仰ぐとともに、本会役職員や地域の福祉関係者、住民等に住民主体の福祉活動の拠り所となる計画の策定について、共通の理解を図れるよう「やさしい地域福祉セミナー」を開催した。

第 1 回 平成 26 年 8 月 21 日

「地域福祉の進め方」 講師 高木 寛之 氏

聖カタリナ大学社会福祉学科

参加者 46名 社協役員、民生児童委員、行政職員等
第2回 平成27年2月21日

「地域福祉の進め方と計画の進め方」 講師 高木 寛之 氏
聖カタリナ大学社会福祉学科

参加者 100名 地域住民、社協役職員等

開催費用等 91,862円

3 福祉団体事業

(1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・理事会 開催回数 3回
- ・総会 開催回数 1回

② 軽スポーツの普及支援

- ・クロッケー大会1回
- ・ペタンク大会1回

③ 高齢者相互支援事業の支援（県老連モデル事業）

- ・友愛訪問活動の充実、シルバーリーダー研修会、健康セミナーの開催

④ 単位老人クラブの活動支援

- ・総会の資料作成支援
- ・一日研修の支援

(2) 松野町身体障害者福祉協議会への自立支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1回
- ・総会 開催回数 1回

② 各種大会等の引率

- ・県障害者福祉推進大会 1回
- ・日本身体障害者福祉大会 1回
- ・県身障連市町団体代表者会議 1回

② 運営費の助成

26,400円

研修費助成

80,000円（全国大会等）

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1回
- ② 各種大会等の引率
 - ・愛媛県遺族大会 1回
- ② 戦没者追悼式の共催
- ③ 運営費の助成 26,400 円

(4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援

- ① 運営費の助成 16,000 円

(5) 朗読ボランティアへの支援

- ① 運営費の助成 12,000 円

4 町受託事業

(1) 心配ごと相談所事業の実施

○相談員（民生児童委員 18 名）を中心に、毎月 1 回町民センターにおいて心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとが気軽に相談できるよう、相談支援活動に努めた。

○総合的な相談支援活動として、年 2 回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 7 件 [債権債務 4 件 その他 3 件]
事業費 108,000 円

5 共同募金配分金事業

(1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額 744,000 円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

共同募金目標額	744,000 円
共同募金実績額	814,622 円
目標達成率	109.4%

(2) 共同募金配分事業（25 年度募金による 26 年度配分事業充当）の実施

総事業費 677,555 円

(ア) 町内の集会所に設置されている遊具を専門業者に依頼し一斉点検を行い、自治会等と相談しその補修等を行い、児童の健全育成の支援を行った。

○ 点検箇所 11 箇所

（礁崎児童公園、向井公園、向井集会所公園、延野々集会所公園、隣保館公園、豊岡後集会所公園、豊岡前住宅集会所公園、吉野アポロ広場、梁瀬集会所公園、伊井公園、逆杖公園）

調査費 49,680 円

- ベンチ新設 1箇所 豊岡前ゲートボール場 2基 125,280円
- 補修遊具 1箇所 1基 補修費 9,720円
伊井公園 ベンチ本体修理

(イ) 母子父子家庭クリスマスプレゼント事業の実施

両親に恵まれない小学校児童、幼児 40名に対し、民生児童委員の協力を得てクリスマスプレゼントを贈り、地域における要援護児童家族の把握を行うとともにその健やかな成長を支援した。

未就学児	13名		
小学1年生	3名		
小学2年生	1名		
小学3年生	7名		
小学4年生	4名		
小学5年生	6名		
小学6年生	6名		
	合計	40名	事業費 84,015円

(ウ) 地域活動支援

- ふれあい・いきいきサロンへの助成 120,000円
年間活動助成金 120,000円 (6グループ)
- 学校等で行なう福祉教育の教材として、児童用の高齢者疑似体験セットの整備を行なった。 85,860円

(エ) 地域福祉推進特別事業

- 愛媛県共同募金会からの特別配分により、ハンディワイヤレスアンプ等の整備を図った。203,000円

(3) 歳末たすけあい運動の実施

平成26年度においても「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受けて実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、324,304円の善意が寄せられ、社協助成金14,696円と併せて、339,000円の義援金を福祉施設入所者20名と、町内在住者215名へ贈った。

なお、町内在住者の義援金配布においては、地区担当民生委員の協力により、見守りを兼ねて実施した。

6 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業の推進

(愛媛県社協の委託事業 受託費259,000円、相談体制整備912,066円)

低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

資金別貸付状況表（平成26年度）					
	緊急小口	教育支援	福祉資金	合計	備考
貸付件数	2件	0件	0件	2件	
貸付金額	162,000円	0円	0円	162,000円	

緊急小口借入理由 生活保護受給までのつなぎ 1件
 その他 1件

延べ相談件数 38件

(2) 小口貸付資金貸付

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して生活指導及び小口資金の貸付けを行った。

件数 6件 貸付金額 120,000円 (26年度貸付総額)
 預金額 99,000円 (27年3月末)
 原資 336,000円

7 まごころ銀行運営事業

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、お礼状を発送するとともに本人の同意のもとに広報誌等へ記載し、その健全な管理運営に努めた。

平成26年度 寄付金 1,662,000円 60件
 寄付金総額（26年度末総額） 21,002,550円（20,086,564円）
 （915,986円増 対前年度比）

寄付申込書における使途希望状況

平成26年度

	金額	件数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業へ	687,000	23	41%	38%
介護保険事業へ	310,000	13	19%	22%
法人へ一任	655,000	23	39%	38%
その他	10,000	1	1%	2%
計	1,662,000	60	100%	100%

平成26年度 まごころ銀行助成金交付状況

No.	事業名	団体名	助成額(円)
1	ノルディックウォークで健康づくり	吉野生地区健康推進会	92,000
2	高齢者等への身近な福祉サービス支援活動事業	目黒生活支援組織「にここ会」	66,000
3	集会所整備事業	蕨生部落	160,000
4	ユニフォームズボン、道具一式購入	吉野生スポーツ少年団	72,000
合計			390,000円

共同募金の配分金と共にまごころ銀行助成金を活用し、車輛を1台購入した。

共同募金配分金特別事業	740,000 円
まごころ銀行助成金	360,000 円

8 居宅介護支援事業

平成12年4月から開始された介護保険制度に対応し、指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画（ケアプラン）の作成やサービス担当者会議の開催（円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整）、及び訪問相談支援活動を行い、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。

また、利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員等との連携と指導協力を得て、地域福祉の向上に努めた。

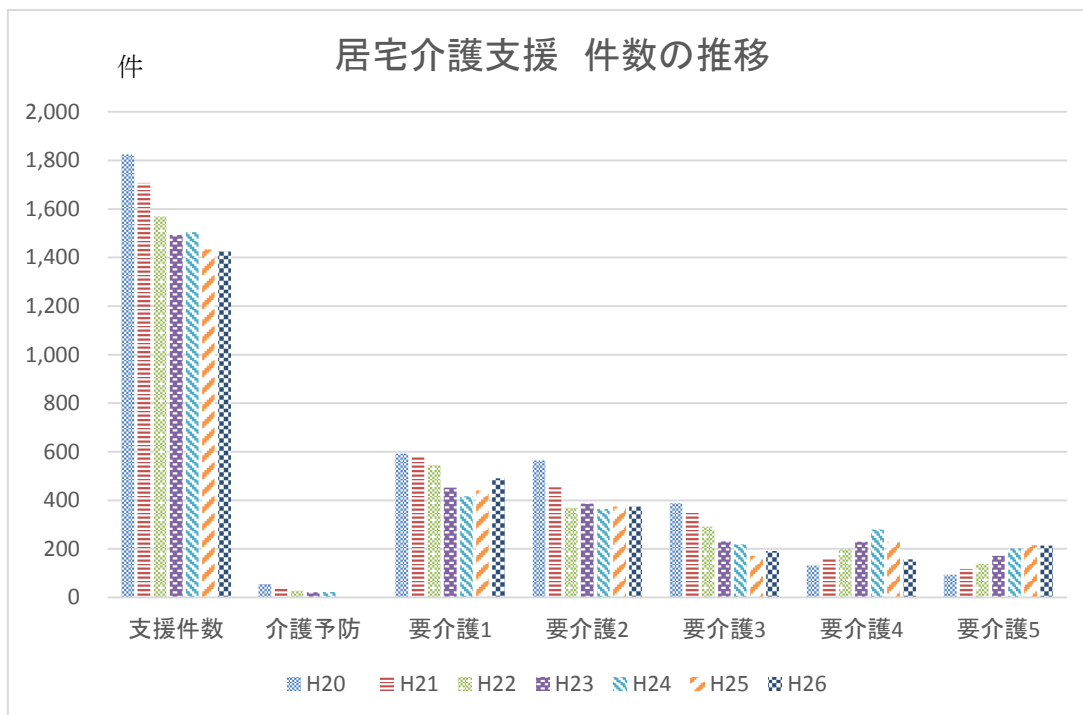
ケアプラン作成件数

							H26年度
	支援件数	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	120		42	30	16	16	16
5月	117		39	31	15	17	15
6月	121		44	30	15	16	16
7月	124		44	31	18	14	17
8月	121		42	32	16	14	17
9月	119		41	29	17	14	18
10月	121		40	34	16	13	18
11月	121		40	35	17	9	20
12月	116		38	35	16	8	19
1月	114		38	33	14	9	20
2月	114		40	28	14	13	19
3月	118		42	27	17	14	18
計	1,426	0	490	375	191	157	213

住宅改修支援 13件
福祉用具購入支援 13件

居宅介護支援 件数の推移

	支援件数	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H20	1,825	55	592	564	388	132	94
H21	1,707	43	580	454	353	159	118
H22	1,569	28	545	369	292	198	137
H23	1,493	21	452	387	231	230	172
H24	1,505	23	417	364	219	280	202
H25	1,433	1	440	375	172	230	215
H26	1,426	0	490	375	191	157	213



事業所特別加算の導入等について研究を行ったが、要件となる 24 時間連絡体制の整備において従事する職員負担が過重となる恐れがあり、引き続き研究する。

9 訪問介護事業

平成 12 年 4 月から開始された介護保険制度に対応し、指定訪問介護事業所として、生活援助や身体介護を行い、利用者の日常生活動作の改善や、生活の質を高める介護に努めた。なお、平成 23 年 9 月から土日祝の介護サービスの提供を実施している。

訪問介護事業の利用状況 (訪問回数・訪問時間)

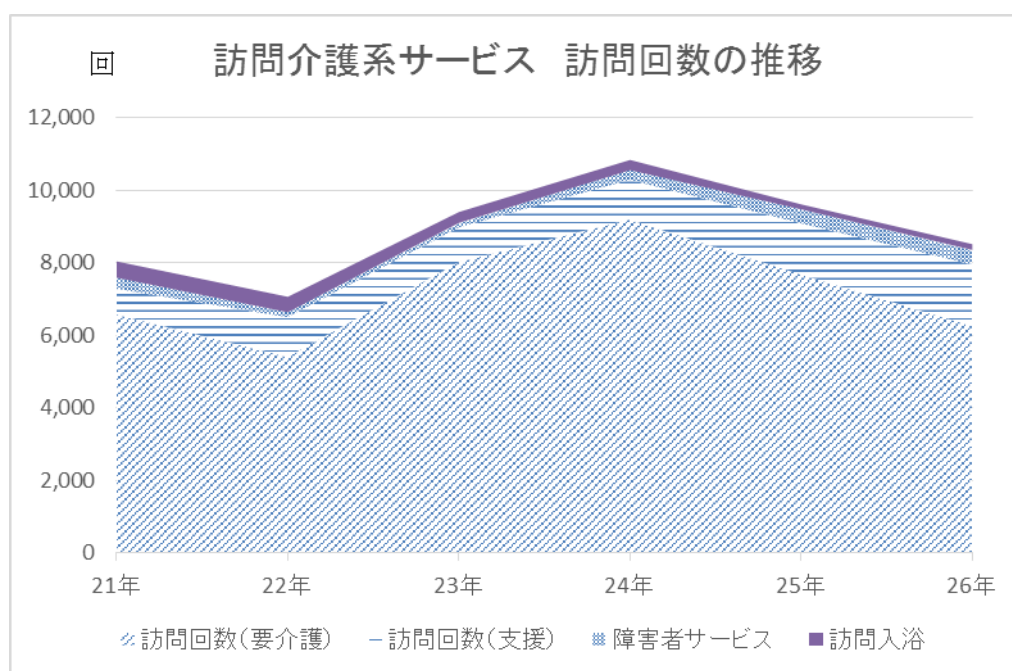
	利用者数	身体	訪問回数		
			複合	生活	計
4月	31	387	44	166	597
5月	31	365	43	189	597
6月	32	358	41	181	580
7月	34	382	46	193	621
8月	32	360	42	179	581
9月	29	264	40	194	498
10月	28	282	40	204	526
11月	28	249	42	152	443
12月	25	260	37	147	444
1月	30	290	35	149	474
2月	29	276	36	119	431
3月	31	288	38	146	472
計	360	3,761	484	2,019	6,264

訪問回数	
利用者数	介護予防
23	130
23	138
21	127
21	139
23	139
23	149
24	156
25	142
24	142
25	148
24	130
23	136
279	1,676

	訪問時間					訪問時間	
	利用者数	身体	複合	生活	計	利用者数	介護予防
4月	31	211	49.5	140.5	401	23	128
5月	31	199	47.5	158	404.5	23	135.5
6月	32	195	48	156.5	399.5	21	124.5
7月	34	212.5	53.5	167.5	433.5	21	137
8月	32	200	48.5	153.5	402	23	137
9月	29	153	47.5	169	369.5	23	146.5
10月	28	163.5	47.5	172.5	383.5	24	153.5
11月	28	141.5	48.5	123	313	25	140
12月	25	147.5	44	121	312.5	24	140
1月	30	168.5	41.5	121	331	25	146
2月	29	159	42.5	102.5	304	24	127
3月	31	171.5	45.5	123	340	23	133.5
計	360	2,122.0	564.0	1,708.0	4,394.0	279	1,648.5

訪問介護系サービス 訪問回数の推移

年度	21年	22年	23年	24年	25年	26年
訪問回数(要介護)	6,587	5,404	8,022	9,189	7,678	6,264
訪問回数(支援)	689	1,088	951	1,096	1,398	1,676
障害者サービス	314	147	130	272	399	415
訪問入浴	450	424	299	280	137	161
計	8,040	7,063	9,402	10,837	9,612	8,516



地域特別加算等の導入等について研究を行ったが、加算分が利用者負担へ直結するため、却って利用者の減少を招く恐れがあり、引き続いて研究する。

10 訪問入浴事業

平成12年4月から開始された介護保険制度に対応した指定訪問入浴介護事業所として事業実施をしていたが、平成21年7月から基準該当訪問入浴事業所として松野町の登録へと変更し、職員体制を効率よく配置できるよう調

整を行い、寝たきり老人の身体の機能回復や清潔を保ち、在宅福祉の向上に努めた。

訪問入浴事業の利用状況

H26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	6	6	6	6	5	2	3	3	3	2	2	3	47
回数	23	23	22	18	12	6	12	12	8	8	8	9	161

11 身体障害者居宅介護事業

平成 18 年 4 月に開始された障害者自立支援法（平成 25 年 4 月から障害者総合支援法へ改正）に対応し、指定障害者居宅介護事業所として、身体障害者が在宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助等を行い、自立的生活を支援した。

身体障害者居宅介護事業の利用状況

平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数 合計
利用者数	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62
身体中心													0
家事中心	43	45	38	38	38	39	32	27	28	28	28	31	415

12 各種募金活動

(1) 日本赤十字社 社資募金

本年度日赤県支部よりの割当て目標額 640,000 円を設定、社資募金運動を展開した結果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をおさめることができた。

社資募金目標額	640,000 円
社資募金実績額	609,562 円
目標達成率	95.2%

・平成 26 年広島県大雨災害義援金

平成 26 年 8 月 19 日からの大雨等により、被災された方の生活再建の一助となるよう、町内 6 箇所に募金箱を設置し義援金を募った。集まった募金は、日本赤十字社広島県支部へ送金した。

義援金額	10,500 円
------	----------

(2) 共同募金運動と歳末たすけあい運動は、「5 共同募金配分金事業」を参照。